

項目名	役割	行動指針	実施時期
都会の癒しの場・レストスペースの創設	-	1	19年度

概要

札幌ならではの「都会の動物園」の新たな楽しみ方として、動物好きに限らず、休日にふと立ち寄って自然の中で快適にのんびり過ごせる空間を創設することにより、子どもだけでなく大人にとっても癒しの場としてビジネスマン・OL層に客層を広げることを目標とする。
 既存施設では、平成17年度竣工のサル山展望レストハウスに象徴されるように動物を眺めながら、長時間リラックスして滞在できるレストスペースを確保するとともに、園内にカフェやコンビニエンスストアを誘致し快適に長時間滞在を過ごせる環境を整える。

<想定する過ごし方>

- ・休日にのんびりニホンザルを見ながら読書
- ・コーヒーを片手にウッドデッキに座ってエゾシカ観察
- ・芝生やキリンの前のベンチに座ってちょっとしたピクニック
- ・ピオトープで昆虫観察しながら森林浴を兼ねて散歩 等

スケジュール

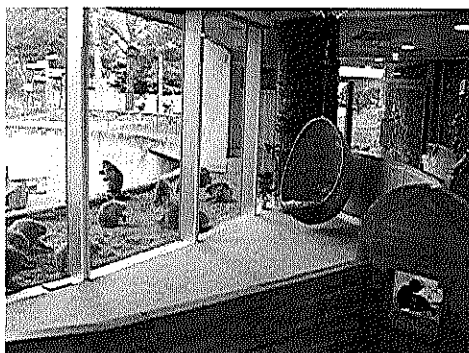
2007年度(平成19年度)

平成20年3月に竣工予定の北方圏施設(エゾシカ・オオカミ舎)の観覧スペースに、自然の中で快適にのんびり過ごせる空間を設ける。

2008年度(平成20年度)以降

動物舎の建設等に合せて、可能な限り動物だけでなく、観覧者もゆったりとのんびり過ごせるスペースを創出する。また、施設の建設・改修以外でも、眺めの良い木陰(日陰)にベンチを設置すること等の実現を図っていく。

参考図表等



時間を忘れてのんびり過ごせる
 サル山展望レストハウス
 (2006年エンリッチメント大賞受賞)



来園者が快適に過ごせるよう
 空間に配慮して設計した
 新しいエゾシカ・オオカミ舎

項目名	役割	行動指針	実施時期
観光ツアーの誘致提案	3	1	18年度

概要

円山動物園を札幌の観光素材として再構築し観光振興に役立てるため、「解説付き感動体験型ツアー」や「夜の動物園パーティプラン」など実験的なイベントを行い実現可能性を検証するとともに、旅行代理店に対して積極的に営業活動を行い観光ツアー誘致を提案する。
特に東京・名古屋・大阪からの送客をターゲットとし、将来的には「冬の動物園」を目玉にアジア圏からの送客を獲得することを目指す。

＜観光素材となりうるイベント＞

- ・みんなのドキドキ体験
- ・飼育員セミナー&裏側探検
- ・円山ZOO LOHASナイト
- ・ナイトキャンプ(お泊り会)
- ・大人の日飼育係
- ・スノーフェスティバル(氷のすべり台)

スケジュール

2006年(平成18年)9月 札幌旅行商品造成会議(東京)において旅行代理店各社に提案
2007年(平成19年)8月 「親子で感動!北海道ちびっこ動物園自然教室」商品化/地球温暖化とホッキョクグマの学習
2007年(平成19年)10月 首都圏シティPRイベント(お台場パレットタウン)出展
2007年(平成19年)11月 札幌観光セミナー「ラウンドテーブル2007」(東京・名古屋・大阪)旅行代理店関係者約200名にプレゼンテーション
※現在、「解説付き感動体験型ツアー」及び「夜の動物園パーティプラン」が商品化決定。

参考図表等



ふれあい体験メニューや夜の動物園をテーマに旅行商品を開発

項目名	役割	行動指針	実施時期
Webを活用した新たなプロモーションの展開	-	1	18年度

概要

来園前後の情報提供や告知を充実し、より動物への興味を喚起するとともに、ブログや動画などロコミ的要素の強いメディアを活用することにより新たな顧客の獲得とリピーターの定着を目指す。あわせてSEO(サーチエンジン対策)を実施し検索優位を獲得する。

＜具体的な取り組み＞

- ・公式サイトのリニューアル
より楽しく、動物園の役割やイベントスケジュール、新着動物などの情報を詳細に伝える
- ・市民サイト「Webシティさっぽろ」観光サイト「ようこそさっぽろ」との連携
相互リンクにより検索優位を保つとともに、新たな顧客開拓の窓口とする
- ・携帯サイト「みんなの円山動物園」/ふれあい体験スケジュールを毎日更新
- ・飼育員ブログ「札幌100マイル」/飼育員自ら情報発信し魅力を伝える
- ・ブログパーツ「ブログ猿」/ニホンザルをモデルにしたブログパーツで公式サイトに誘導する
- ・動画サイト「Maruyama Zoo Channel」/動画による貴重映像や飼育員解説で話題性を喚起する

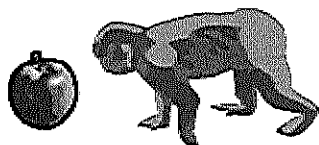
スケジュール

2006年(平成18年)6月	公式サイトリニューアル
2006年(平成18年)9月	携帯サイト開始(日本初)
2007年(平成19年)2月	飼育員ブログ開始(道内初)
2007年(平成19年)7月	ブログパーツ配信開始(日本初)
2007年(平成19年)9月	動画サイト開始(スポンサー支援型としては日本初)

参考図表等

＜用語解説＞

- ・SEO(サーチエンジン最適化)
インターネットの検索エンジンで上位に表示されるようにサイトの構成を工夫しより多くの方がサイトを訪れるようにすること。
- ・ブログ(blog)
Web logの略語。インターネット上に公開された日記形式のホームページ。
- ・ブログパーツ
ブログやホームページに貼り付けることができるアイテム。
時計やゲームなど様々な種類がある。



日本初の円山動物園オリジナル・ブログパーツ
ニホンザルがHP上を歩き回



項目名	役割	行動指針	実施時期
新たなメディアを活用したプロモーションの展開	-	1	18年度

概要

円山動物園の知名度を高めブランドを向上していくためには、動物園本来の活動の充実が最も重要であるが、これに加え多様化するメディアに対応した取り組みが必要となるため、既存の新聞・テレビ・雑誌・広報誌・ホームページだけでなく、新たなメディアについても積極的に取り組んでいく。円山動物園の果たしている役割や高い技術力、他の動物園にない魅力を複数のメディアを通じて継続的に発信し、エピソードを蓄積していくことによりストーリー感を持たせ再生の起爆剤としていく。

＜想定する展開＞

プロモーションDVDを制作し、市内小学校などの教育機関や旅行代理店、報道関係者に配布するとともに、絵本や写真集などの出版物についても検討を行う。

様々なフリーペーパーについてもメディアとして捉え、露出の機会を獲得する。

また、書籍化・ドラマ化・映画化なども将来的には視野に入れてプロモーション活動を行う。

スケジュール

2006年(平成18年)～ 環境フリーペーパー「HOSHI-HITO」に掲載

2007年(平成19年)～ 食育フリーペーパー「のこたべ」に掲載

2007年(平成19年)12月 プロモーションDVD制作

2008年(平成20年)1月 アジアゾウ花子の絵本出版

参考図表等



長年のファンからの熱い要望により
花子の一周忌には絵本を出版

項目名	役割	行動指針	実施時期
教材ワークブック開発による小学校の総合学習誘致	1	1	19年度

概要

動物の生態を通じて楽しみながら、命の大切さや環境メッセージを伝えるため、小学生(低学年・高学年の2種)を対象として、主に総合学習での活用を考えた教材を教員、研究者らと共同開発する。学習効果を高めるとともに小学生から「動物園＝環境教育の場」という認知を広げる。

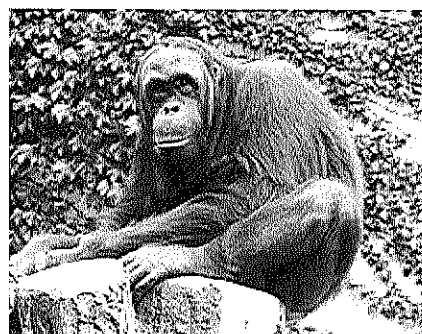
教材は、A4版4～5ページで授業で扱える程度のボリュームとし、短時間の授業でも十分にメッセージが伝わる内容とする。

また、活用した教員が自由に改良できるように教材そのものをデータでWeb配信し、利用者の声をもとに改良を重ねていく。

スケジュール

2007年度(平成19年度) 研究者・教員・飼育員による編集チーム設置、教材開発、学校配布
 2008年度(平成20年度) 総合学習での活用、随時内容を更新しながらバージョンアップ

参考図表等



ホッキョクグマはどのようにして絶滅しそうなの？ 森林は今どんな状況にあるのだろうか？

項目名	役割	行動指針	実施時期
修学旅行誘致の拡大	3	1	19年度

概要

環境教育の拠点であり生物多様性確保の基地でもある円山動物園を教育の場として活用するとともに、集客産業の一環として本州からの修学旅行誘致を推進する素材として積極的にプロモーションしていく。

園内では、動物の生態を学ぶだけでなく、地球温暖化により絶滅危惧種となったホッキョクグマなどを通じて地球環境問題について学ぶことができ、なおかつ都会にありながら円山原始林に隣接し自然豊かな環境で北海道の野生動物(エゾリスやエゾモモンガなど)について触れ合いながら体験学習が可能である。

また、園が取り組む「北海道の野生動物復元プロジェクト」のオオワシ、シマフクロウ、オオムラサキ、ニホンザリガニなどの野性復帰について学ぶことにより、全国各地においても地元の生態系を守ることの重要性を訴えることができる。

このほか、飼育員や獣医といった職業体験のメニューもあり、多様な学習機会を提供できる。

<具体的な誘致策>

修学旅行用に園内の教育プログラムをまとめ、札幌市東京事務所を通じて誘致活動を行う。

スケジュール

2007年度(平成19年度)誘致活動実施済

参考図表等

<動物園学習のメニュー例>

●来園人数40名以下(40~60分程度)

- (1) 質疑応答(動物科学館ホール・体験学習室を使用)
- (2) 裏側案内
飼料庫(餌の説明)、動物病院(日本初の公開型病院)、熱帯動物館(動物の生態説明)

●来園人数40名以上(30分程度)

- (1) 質疑応答(動物科学館ホールを使用)
- (2) ビデオ学習
- (3) ガイダンス
 - ・絶滅危惧種について(レッドデータブックの動物たち)
 - ・環境教育(地球温暖化・森林破壊・オゾン層の破壊)
 - ・種の保存
 - ・野生復帰 など

項目名	役割	行動指針	実施時期
市民ボランティアの活動分野の拡大	-	1	19年度

概要

「市民が支え、市民がつくる、市民が主役の動物園」を目指し、これまでも行ってきた動物園ガイドボランティアをより充実させるとともに、イベント、ふれあい指導、園芸・修繕、清掃等の活動全般に市民ボランティアを拡大させていく。

- ・ガイドボランティア
ポイントガイド、ガイドツアー、ニュースレター発行(19年10月時点 登録者数120名)
- ・イベントにおけるボランティア
様々なイベントに実行委員会もしくは個人として参加・協力を行う。運営スタッフ、写真撮影など。
- ・ふれあい指導におけるボランティア
大学生を中心にこども動物園でのふれあい指導や環境教育の手伝いを行う。
- ・園芸・修繕におけるボランティア
錆びた手すりの塗装ボランティアや植樹・植生調査などを行う。
- ・清掃等におけるボランティア
園内のごみ拾いや雑草抜きなどの手伝い、園内のデザインや来園者のための改善箇所の調査など。

スケジュール

- ・動物園ガイドボランティア制度(平成10年4月～継続実施)
- ・イベントボランティア(随時実施済)
- ・ふれあい指導(酪農学園大学学生により19年度実施済)
- ・園芸(小学生と塗装組合により例年実施済)
- ・修繕(植生調査は札幌科学技術専門学校生徒により19年度実施済)
- ・清掃(中学生、高校生等により随時実施済)
- ・園内調査(札幌市立大学生により18年度実施済)

参考図表等

--

項目名	役割	行動指針	実施時期
動物の魅力をより深く伝えるための取り組み	1	1	18年度

概要

ソフト事業の展開にあたっては、新たな魅力づくりにより「お客様を惹きつけ」て、新たな学びづくりにより「メッセージを伝える」という2つのサイクルを融合させ、円山らしさや体験を織り交ぜることにより、楽しく学べる、面白くて役に立つ「とっておきの場所」としてのブランドを構築していく。
特に動物の魅力を再発見できる「動物特集」や、飼育員自らが語り手となるセミナーなどを通じて、動物の魅力をより深く伝えていく。

<展開事例>

- ・飼育員の動物講座(サンデーセミナー)
- ・文化講座、区民講座の園内開催
- ・飼育員による出前講座
- ・飼育員のドキドキトーク
- ・チンパンジー特集「レディウィーク」
- ・は虫類特集「スネークアート展」

スケジュール

18年度実施済

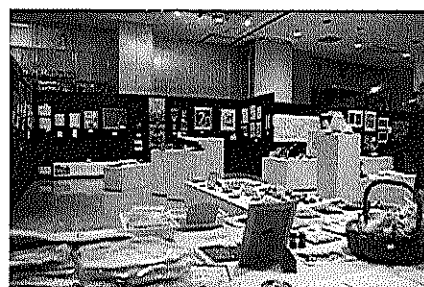
参考図表等



飼育員の動物講座は大人も子どもも楽しめる人気イベント



パネルやビデオで詳しく学べる「レディウィーク」の様子



アートを通じては虫類の魅力を再発見する「スネークアート展」